

専門英語（2年）

コーディネーター：病態生理学分野 佐原資謹教授

担当講座（分野）：教養教育センター外国語学科英語分野

解剖学講座（機能形態学分野）、解剖学講座（発生生物・再生医学分野）、
生理学講座（病態生理学分野）、生化学講座（細胞情報科学分野）、
病理学講座（病態解析学分野）、微生物学講座（分子微生物学分野）、
薬理学講座（病態制御学分野）、医療工学講座

第2学年 前期・後期

	講義	演習
前期	13.5 時間	
後期	12.0 時間	1.5 時間

教育成果（アウトカム）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上で必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。
(ディプロマ・ポリシー：7、8)

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

事前学習については、各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低 30 分を要する。WebClass にテキストの音声ファイルを公開する。本内容は全授業に対して該当するものとし、適宜、事前学習内容の発表時間を設ける。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月16日(火) 4限 4月23日(火) 4限	柳谷千枝子助教 (外国語学科英語分野) 大沼仁美助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅰ 体の各部位の名称を英語で理解する	1. 体の部位の英語を読み、書き、正しく発音できる。 2. 体の部位について英語で質問し、また、答えることができる。 [A-7-2)-①]
5月7日(火) 4限 5月21日(火) 4限	柳谷千枝子助教 (外国語学科英語分野) 大沼仁美助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅱ 病気や症状に関する英語を理解する。	1. 病気や症状の英語を読み、書き、正しく発音できる。 2. 病気や症状について英語で質問し、また、答えることができる。 [A-7-2)-①]
6月4日(火) 4限 6月11日(火) 4限	柳谷千枝子助教 (外国語学科英語分野) 大沼仁美助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅲ 医療現場で使用する英語表現を理解する。	1. 医療現場での基本的な会話ができる。 2. 英語の音声を聴いて、内容が理解できる。 [A-7-2)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月18日(火) 4限 6月25日(火) 4限	柳谷千枝子助教 (外国語学科英語分野) 大沼仁美助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅳ 英文の構造と内容を理解する。	1. 英文を読んで、構造を正しくとらえ、内容が理解できる。 2. 英語の音声を聴いて、内容が理解できる。 [A-7-2)-①]
7月2日(火) 4限	柳谷千枝子助教 (外国語学科英語分野) 大沼仁美助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅴ 英語の正しい発音を理解する。	1. 会話や英文の内容を、口頭または文章で表現できる 2. 英語の音声を聴いて、内容が理解できる。 [A-7-2)-①]
9月30日(月) 1限 10月7日(月) 1限	James Hobbs 教授 (外国語学科英語分野) 機能形態学分野 発生生物・再生医学分野 細胞情報科学遺伝学分野 病態生理学分野 医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野 分子微生物学分野	医学・歯学の基本用語Ⅰ - 語根と接尾辞 基礎的な医学・歯学用語を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
10月21日(月) 1限 11月11日(月) 1限	James Hobbs 教授 (外国語学科英語分野) 機能形態学分野 発生生物・再生医学分野 細胞情報科学遺伝学分野 病態生理学分野 医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野 分子微生物学分野	医学・歯学の基本用語Ⅱ - 接尾辞 基礎的な医学・歯学用語を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
11月18日(月) 1限 11月25日(月) 1限 12月2日(月) 1限 12月9日(月) 1限	機能形態学分野 発生生物・再生医学分野 細胞情報科学遺伝学分野 病態生理学分野 医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野 分子微生物学分野	医学・歯学の基本用語Ⅲ 基礎的な医学・歯学用語を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月16日(月) 1限	佐原資謹 教授 (病態生理学分野)	医学・歯学の基本用語／演習 (到達度評価試験)	1. 客観的な評価 (到達度評価試験) をうけ、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックをうけ、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
参	Medical Terminology A short course 8th ed.	Davi-ElIen Chabner	Saunders	2017年
参	Dental Terminology 3rd ed.	Charline M Dofka	Del mar Cengage Learning	2013年

成績評価方法

<p>総合評価：前期試験(1/2)と後期到達度評価試験(1/2) 前期は、一年次の英語の成績をもとにレベル別クラスを編成し、ハンドアウトを使用して講義をおこなう(教養教育センターの教員が担当)。どのクラスも同じ教材を使用し、同じ内容の試験(中間試験2回と前期試験)を行う。 後期は、個々の英語力の多様なレベルに対応できるよう、少人数のグループ学習(基礎系8講座(分野)の教員等が担当)の形式でおこない、到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。</p>
--

特記事項・その他

<p>WebClass にテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。 到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却(フィードバック)をおこなう。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。</p>
